



内閣府認証NPO法人 アジア・アパレルものづくりネットワーク

第51回例会 **東北・北海道アパレル生産スタディツアー** ご挨拶

略称 : AAP スタディツアー

会 員 各 位

謹 啓

錦秋の候、会員各位におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃よりアジア・アパレルものづくりネットワークの活動にご理解を賜り、ご協力をいただいております事誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

この度の第51回例会は、視察ミッションとしてASEAN、南西アジアの国々の縫製工場を視察してきましたが、一旦、海外視察を休止し、日本国内で生き残っている有数の縫製工場の見学に切替ました応募を始めましたところ、予定人数を突破し、40数人まで膨らみました。見学先工場様に、再度、見学人数の受入れをお願いし、改めて了承を得て、ようやくスタートすることとなりました。

アパレル業界は、今、大きな転換点に来ていると思われまます。業界の雄、オンワード樫山は構造改革を実施、国内外3,000店舗の閉鎖に踏み切り、ネットビジネス比率を30%まで高めることを発表しました。おそらくこの流れはアパレル業界全体に波及すると思われまます。大量生産比率を減らし、カスタマイズ生産へと大きな時代の変化がアパレル生産関連企業に押し寄せているのです。

こうした状況への対応する課題として、今回のスタディツアーで少しでも学びたいと考えています。

第1に、スマートファクトリーと言われる縫製マシン分野のデジタル化の進歩です。

これについては、TSIソーイング米沢工場を見学させていただきます。

第2に、マスカスタマイゼーション、スマートテーラーと言われるオーダー生産です。

これについては、センチュリーテクノコア弘前工場を見学させていただきます。

第3に、高度な技術力をもっている工場を見学し、研鑽と積みたいと思います。

株式会社サンヨーソーイング青森、株式会社サンライン、株式会社室蘭ソーイングを見学します。

どこも日本でも、また世界的にも秀でたる工場です。

第4に、米沢において高品質な織物生産の東北整練株式会社を見学します。

どこも、めったに見学できる工場ではありません。しっかりと、学んで来たいと思います。

これらのスタディツアーの感想については、次回第52回例会のアパレル業界東京交流会にて、行いたいと思います。スタディツアーに参加されなかった会員様も是非、アパレル業界東京交流会にご参加いただき参加された方々の生の声を聴いていただければ幸いです。

今後とも、益々のご指導とご鞭撻賜りますようお願い致しますと同時に未筆ながら、会員各社の益々のご発展と会員各位のご活躍をお祈り申し上げ東北・北海道スタディツアーのご挨拶とさせていただきます。

敬 具

2019年10月23日

内閣府認証NPO法人

アジア・アパレルものづくりネットワーク

代表理事 小島 正憲